

配付資料

資料 1	県のNPO施策の実施状況・・・・・・・・・・	1 ページ
資料 2	令和 8 年度のNPO関連事業・・・・・・・・・・	5 ページ
資料 3 (別冊あり)	今後のNPO施策の方向性(案)に対する意見照会の結果・・・	7 ページ
参考資料 1	しずおか竹ネットワーク・・・・・・・・・・	9 ページ
参考資料 2	しぞーかわかものアクションアワード・・・・・・・・	10 ページ

県のNPO施策の実施状況

区分		実 績
人材育成	中間支援向け	【中間支援スタッフ研修】 令和7年度：7回実施／10回実施予定（12月末現在） ①県内NPOセンター等との交流・意見交換（16人参加） ②NPO支援に向けた知的財産権講座（10人参加） ③NPO相談対応スキルアップ研修1（9人参加） ④NPO相談対応スキルアップ研修2（6人参加） ⑤中間支援組織のこれからと新たな事業モデルを考える戦略会議1（10人参加） ⑥県内NPOセンター等とのICT力強化交流会（12人参加） ⑦中間支援組織のこれからと新たな事業モデルを考える戦略会議2（7人参加） 【相談事例集の共有】 ・相談事例集の増補改訂を行い、市町センター等に提供
	NPO向け	【NPO向け講座】 令和7年度：8回実施／10回実施予定（12月末現在） ①NPO法人事務講座（31人参加） ②地域を支えるNPOのための資金調達講座（26人参加） ③研修受け入れ講座（22人参加） ④NPO会計講座基礎編（20人参加） ⑤NPO会計講座応用編（19人参加） ⑥地域を支えるNPOのための資金調達講座・実践編（16人参加） ⑦NPOのリスクマネジメント講座（14人参加） ⑧人が集まるNPOのつくり方（9人参加）
社会貢献活動の普及啓発		【NPO活動等に関する情報発信】 ・助成金・公募情報、NPO向け講座情報、イベント情報 （R6：355件、R7：427件（12月末現在））
		【企業とNPOのマッチング支援】 令和7年度：1回実施／2回実施予定（12月末現在）、31人参加 ・しずおかをまぜる！企業×NPOの協創の可能性
		【若者・移住者のNPO参画支援】 令和7年度 ・NPO地域貢献活動体験プロジェクト（22人参加（12月末現在）） ・起動ワークショップ開催（4名参加）

区分	実 績
社会貢献 活 動 の 普 及 啓 発	【NPOの広域ネットワーク化の支援】 令和7年度 竹林に係る団体ネットワーク（12月末現在）参考資料1 ・ 検討会議、交流会等実施（4回実施（計24人参加）／7回程度予定） ・ オンライン勉強会（3回実施／3回程度予定・延234人参加） ・ SNSを通じたネットワークの拡大 子育て支援に係るネットワーク（12月末現在） 交流会2回実施（計58人参加）／3回程度実施予定 若者団体ネットワーク参考資料2 ・ 「わかものアワード」開催予定
	【NPO女性リーダー等支援】 令和7年度 ・ NPO女性リーダー交流会 36人参加 ・ NPO女性リーダー育成プログラム（6回、延33人参加）

講座の定員充足率

・実施済み29講座中9講座は定員なし（主にオンラインのみの講座など）

・定員は対面受講者のみに設けていることが多く、実際の参加者は受講者よりも多い場合がある

資料1-2

対象	講座名	日付	募集人数	(募集に対する) 受講者数	充足率	全体 受講者	備考
中間支援	NPO支援に向けた知的財産権講座	7月11日	20名 (オンライン)	7名	35%	10名	オンライン7名、アーカイブ3名
中間支援	中間支援組織のこれからと新たな事業モデルを考える戦略会議	10月7日	15名	10名	67%	10名	対面のみ
中間支援	中間支援組織のこれからと新たな事業モデルを考える戦略会議2	12月9日	15名	7名	47%	7名	対面のみ
NPO法人	NPO法人事務講座 年間を通じた事務手続きやポイントを学ぼう	5月22日	対面10団体、オ ンライン15団体	対面4団体、オ ンライン16団体	73%	31名	対面4名、オンライン16名、アーカイブ4名
NPO法人	地域を支えるNPOのための資金調達講座	6月27日	20名 (対面)	6名	30%	26名	対面6名、オンライン17名、アーカイブ3名
NPO法人	研修受け入れ講座	9月3日	20名 (対面)	2名	10%	22名	対面2名、オンライン16名、アーカイブ4名
NPO法人	NPO会計講座基礎編	10月21日	20名 (対面)	5名	25%	20名	対面5名、オンライン11名、アーカイブ4名
NPO法人	NPO会計講座応用編	11月11日	20名 (対面)	5名	25%	19名	対面5名、オンライン12名、アーカイブ2名
NPO法人	地域を支えるNPOのための資金調達講座・実践編	11月20日	20名 (対面)	2名	10%	16名	対面2名、オンライン13名、アーカイブ1名
NPO法人	NPOのリスクマネジメント講座	12月5日	20名	14名	70%	14名	対面のみ
NPO法人	人が集まるNPOのつくり方	12月18日	20名	9名	45%	9名	対面のみ
若者・移住	起動ワークショップ	9月6日	10名	4名	40%	4名	対面のみ
子育て支援	子どものしんどさに気づく支援とは	7月23日	30名 (対面)	13名	43%	40名	対面13名、オンライン16名、アーカイブ1名
女性リーダー	聞く力と話す力	7月24日	20名	4名	20%	4名	対面のみ
女性リーダー	組織のデザイン	8月19日	20名	6名	30%	6名	対面のみ
女性リーダー	思いを事業化する手段	9月17日	20名	5名	25%	5名	対面のみ
女性リーダー	資金繰りについて	10月17日	20名	7名	35%	7名	対面のみ
女性リーダー	有意義なミーティングの開き方	11月12日	20名	5名	25%	5名	対面のみ
女性リーダー	オンラインコミュニケーションサロン	12月10日	20名 (オンライン)	6名	30%	6名	オンラインのみ
平均					36%		

令和7年度静岡県NPOと地域コミュニティとの連携事業モデル創出業務委託

1 事業目的

近年、静岡県内の自治会等の地域コミュニティでは、高齢化や担い手不足等により、多様化する地域課題への対応が難しくなっている。

一方、地域コミュニティだけでは対応できない課題も、その分野への専門性の高いNPOと協働することで解決につながると考えられる。

本委託業務では、地域コミュニティとNPOが支え合う地域の仕組みを作り、誰もが暮らしやすい地域を目指すモデル事例を創出する。

2 委託の概要

事業内容	NPOが、静岡県内の自治会等の地域コミュニティと連携して、地域課題の解決のために新たに取り組む事業
契約方法	公募型プロポーザルによる随意契約
委託上限額	1件 300 千円（人件費を含む）
委託期間	契約締結日（令和7年9月）から令和8年3月23日まで

※自治会等とNPOが事業を実施する上での伴走支援をふじのくにNPO活動支援センターに委託している。

3 受託者及び業務の内容

① 特定非営利活動法人クロスメディアしまだ

地域団体抜里エコポリスと連携した「里山体験型プログラム」の開催

- ・参加者の小学生に、地域の魅力を再発見できるようなアート・自然体験及び地域住民との交流の場を提供する。
- ・上記プログラムの報告書を作成し、Webメディアへの掲載等により事業の成果を地域内外に発信する。

② 特定非営利活動法人樹木いきいきプロジェクト

ア 「みんなで門池公園を大切にする地域イベント」（仮称）の開催運営

- ・門池コミュニティ推進委員会とともに門池公園の景観改善のためのイベントを開催運営する。主に担当する役割として、園内の樹木・植物の維持管理、導入等への技術支援を行う。

イ 門池公園内の樹木・植物の基礎データ作成

- ・上記アのイベント等における調査結果と沼津市公園台帳を紐付け、公園の魅力を的確に発信するためのデータを作成する。

4 横展開のための取組み

他の地域コミュニティでも事業が展開できるよう、下記の取組みを実施する。

- ・各事例関係者による成果、反省点、課題等についての報告・意見交換会の開催
※地域コミュニティ、行政、NPO等関係者の他、一般市民も参加可能
- ・課題等を検証した報告書の公開

令和8年度のNPO関連事業

1 事業目的

多様化する地域課題に対応するため、県のNPO活動支援センターの運営を通じたNPOによる社会貢献活動の促進や、NPO法人の認証事務等を行う。

2 概 要

事業	予算額（千円）	
	R 7 当初	R 8 当初
NPO推進事業費	32,200	21,308
○県のNPO活動支援センターの運営 ・NPOや社会貢献活動に関する相談対応（重点項目） ・NPOを支援する中間支援人材の育成 ・市町市民活動センター未設置地域のNPO活動支援 ・社会貢献活動の普及・啓発（NPOと多主体との連携支援、NPOの広域ネットワーク化支援、若者・移住者等のNPO参画支援・運営支援等を含む）	30,133	20,141
○パイロット事業（自治会等と連携するNPOに委託）	900	—
○NPO法事務等 ・NPO法事務（認証、認定、指導・監督等） ・有識者会議の開催（施策の評価、検討）	1,167	1,167
NPOと副業人材による豊かな地域づくり事業費(新規事業)	—	3,000
○NPOと副業人材のマッチング支援事業（重点項目）	—	3,000
合 計	32,200	24,308

NPOと副業人材による豊かな地域づくり事業

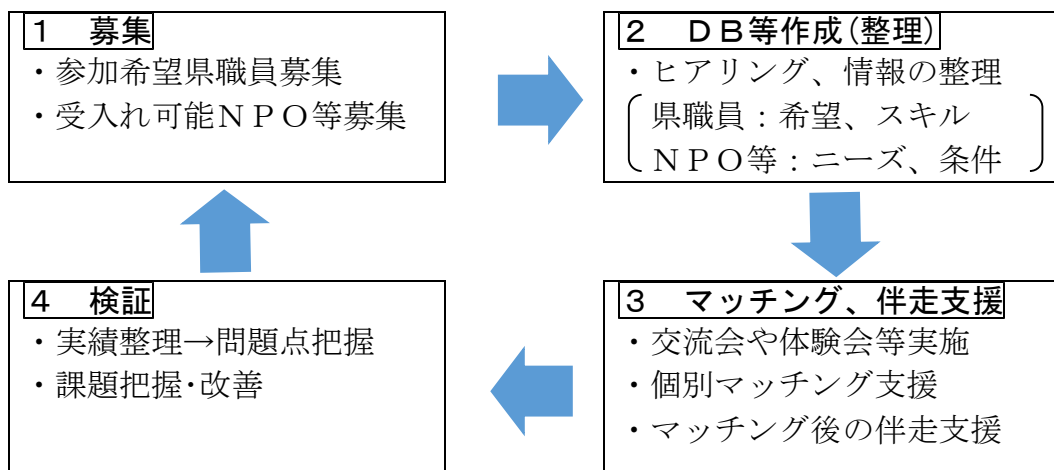
1 概要

人手不足を課題としているNPOと、社会貢献を希望する副業人材をマッチングする。

令和8年度は、兼業許可制度の拡大のタイミングに合わせ、県職員を中心に実施し、幅広い副業人材への取組拡大に向けた課題整理やノウハウ構築を行う。

2 事業の概要

県職員とNPOとのマッチング等支援を実施する。



3 事業の背景等

○静岡県庁LGX型兼業*が開始され、県職員の副業への取組が拡大されている。

○NPO法人の主な課題に、人材の不足があげられる。

（令和6年度静岡県NPO法人・一般財団法人実態調査より）

・事業活動・運営・管理業務を担う人手の不足 約45%

・役員・職員の高齢化による後継者不足 約40%

→県職員とNPO法人等をマッチングし、NPO法人等の人材不足を解消すると共に、地域貢献や社会課題の解決に取り組む。

*静岡県庁LGX型兼業について

・兼業先が株式会社等まで一部拡大※1(令和7年8月から実施)

・なおNPO法人を兼業先とする場合、報酬がある場合でも原則従事可能※2

※1 株式会社等営利企業で従事する場合、兼業の内容が地域貢献活動や社会課題の解決に取り組む活動に従事する場合及び県や市町の政策として課題解決を図る活動に従事する場合に限り従事可能

※2 NPO法人が適切に事業報告等を提出していること、NPO法人又はその役員等が刑事事件に関し起訴されていない、特定不利益処分のうち許認可取り消し等を受けていない等の条件あり

「今後のNPO施策の方向性(案)」に対する意見照会の結果

1 意見の募集期間

令和7年 12 月 22 日(月)から令和8年1月 20 日(火)まで

2 意見照会の方法

県ホームページ(NPO活動支援サイト)に掲載

(併せて、県内市町市民活動担当課宛て文書により意見照会)

3 意見の提出状況

提出者2者(5件)

4 提出された意見の概要及び対応案 ※本体の修正なし

No	意見の概要	意見への回答(対応案)
1	4ページ(施策目標)～5ページ(目指す姿)「NPO等が社会貢献活動を…」、「NPO等による社会貢献活動の…」という記載に関し、NPO以外に想定しているのはどういった主体か。	4ページに記載の「企業等他セクター、若者等」を想定しています。
2	4ページ(概要(方向性)、想定される主な取組)「NPOとの連携を通じた政策実現」について、政策を実現していく主体は県と捉えてよいか。その場合、想定される主な取組として、県とNPOとの連携を見据えた取組を記載すべきではないか。	県が、NPOの意見等を踏まえながら、様々な政策を実現していくことを想定しています。 対応する主な取組としては、「NPOと行政等との連携・協働可能性事業の洗い出しや実現の促進」を想定して記載しているところです。
3	4ページ(想定される主な取組)「NPO、企業等他セクター、若者等社会貢献担い手人材による広域的・横断的な交流の促進」を「NPOと企業等他セクターや若者をはじめとした社会貢献意欲の高い人材をつなぐ、広域的・横断的な交流の促進」としたかどうか。 (理由) 文意をわかりやすくするため。	NPOとNPO以外のセクター、人材との交流促進だけでなく、NPO同士や担い手人材同士の交流等も想定しているため、従前の「学生や企業等他セクターとNPOとの交流の促進」から左記の表現に修正しています。 このため、現時点で修正はしませんが、取組を進めながら、NPOを中心とした社会貢献の担い手同士の効果的な関わり方を引き続き検証・検討していきます。

No	意見の概要	意見への対応案
4	行政側のスタンスに違和感を覚える。NPOを支援する対象という前提で、どんなサポートが必要か、という視点を変えてはどうか。市民自治を原則として考えた場合、NPO、市民活動は特定の行政分野ではなく、あらゆる分野において社会を構築していく上で行政とは両輪となっていくべき存在であり、あらゆる部署とパートナーシップを組んでいくべき存在であると思う。担当部署には各専門部署との橋渡し役になっていただくのが良い。 このため、図として、県→NPOという一方通行の支援イメージではなく、双方向の⇄矢印の中から、いかにして良い社会、県民個々人のウェルビーイングを共に向上させていけるかという方向性で再度検討いただけると良い。	御意見をいただいたとおり、県は、NPOを行政と対等なパートナーシップを組んでいくべき存在であると考えています。 3ページ「NPOと県との今後の関係性」の図では、NPOが抱える課題を解決し、活発な運営をしていくためのリソースとして「対等な連携・協働パートナー(行政を含む)」等と捉え、一方で、リソースを持たないNPOのリソース獲得のためのサポートや環境づくりを施策として実施していくことを表しています。 担当部署による各専門部署との橋渡し役との御意見については、4ページの表の「主な取組」における「NPOと行政等との連携・協働可能性事業の洗い出しや実現の促進」で対応していきます。 一方通行でNPOを支援するのではなく、NPOが活躍しやすい環境づくりに取り組むことで対等な関係性を持ち、共に「県民幸福度の高い、活力ある地域」(5ページ)を目指します。
5	具体的な目標設定、指標設定が難しい分野ではあると思うが、NPO・市民活動が持つ、企業や学術とは異なる価値、その発展が県政、県民生活にどのように貢献するかの解像度を高めて行けたらよいと思う。	現時点では、NPO・市民活動が持つ、県政、県民生活への貢献度を明確に表す指標の設定や、解像度を高めることは難しいですが、今後もNPO関係者の方々との意見交換等を行いながら、取組を進めてまいります。

5 今後の予定

令和8年2月時点の案に対する令和7年度第2回静岡県パートナーシップ委員会での意見交換を踏まえ、最終案を県で決定し、県ホームページ(NPO活動支援サイト)で、県の施策の考え方を整理したものとして公開する。

つながりから持続へ

竹林整備を支える資金調達を考える



2023年夏に誕生した「しずおか竹ネットワーク」では、継続的な竹林整備・保全活動には資金不足や高齢化による人材不足といった課題が指摘されています。今年度は竹林整備を支える国や県の制度を学びながら、「竹林整備を持続させる資金の流れをどうつくるか」をみんなで考えます。年に1度みんなで交流して情報交換しましょう！

2026年

1/21

水

10:00～
15:00

会場 B-nest静岡市産学交流センター プレゼンテーションルーム
静岡市葵区御幸町3番地の21ペガサート6階(静岡駅から徒歩約8分)

10:10 ～ 国の制度と市町の取組み

- ◆森林環境税・森林環境譲与税の仕組みと活用
岡田裕貴氏
(林野庁 森林利用課森林集積推進室 課長補佐)
- ◆森林環境譲与税 竹林整備へ活用の市町の事例
池田良実氏
(伊豆市 農林水産課 林業自然保護スタッフ)
鈴木勇海氏
(静岡市 環境共生課 自然ふれあい係主事)

11:40 ～ 県の制度と活用状況

- ◆森づくり県民税(森の力再生事業)を活用した竹林整備事例
望月大輝氏(静岡県中部農林事務所 森林整備課)
- ◆竹林整備を持続させる資金の一例と県内の活用事例
長谷川剛司氏
(公益財団法人静岡県グリーンバンク)

13:00～ パネルディスカッション&フロアディスカッション 「竹林整備を持続させる資金の流れをどうつくるか」

ファシリテーター
西山典秀氏
国立遺伝学研究所



14:20～ 交流タイム

望月大輝氏
静岡県中部農林事務所

鈴木勇海氏
静岡市環境共生課

長谷川剛司氏
静岡県グリーンバンク

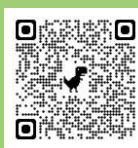
知久昌樹氏
(特非)BASSplus

清水千津子氏
清水グリーンサービス㈱

対 象 静岡県内で放置竹林対策に取り組む企業・NPO・行政・学生・個人、竹の利活用に興味のある企業

参加申込 Googleフォームよりお申込みください。
<https://forms.gle/s6LALfb7bAKoj5CJA>

申込フォーム⇒



主催・問合せ ふじのくにNPO活動支援センター(静岡県)

📍 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F

☎ 054-260-7601(平日10時～19時) ✉ fnc@shizuokafund.org

🌐 <https://www.npo-fujinokuni.jp/>

FNC
Fuji no kuni NPO Center



しずーか
わかもの
アクションアワード

つながる

若者団体 × 企業

マッチング交流会

若者
団体

NPO

企業

高校
大学

行政

【日時】 2026年2月24日（火）
（同日開催アワード） 14:00～15:30 発表 17:45～18:05
マッチング交流会 15:45～17:30

【場所】 コミュニティホール七間町MIRAIEリアン
静岡市静岡市葵区七間町12-4

【内容】 社会課題に取り組む若者団体と企業との交流会

お申込・お問い合わせはお気軽にどうぞ！

しずーかわかものアクションアワード実行委員会

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1水の森ビル2F FNC内

メール・電話
お問い合わせ

✉ shizuoka.wakamonozukan@gmail.com

☎ 054-260-7601

お申込は
こちら



若者団体×企業マッチング交流会とは

社会課題に取り組む若者団体と企業が、
互いの強み・想いを共有し、協働の可能性を見つけ、
「一緒にやってみたい」と思える出会い・マッチングを生み出す交流会です。

※ここでいう若者団体とは、静岡県内で地域活性化、社会貢献をテーマにした活動をおこなっている30歳以下の若者が主体となった団体をさします。

対 象 若者団体・企業・NPO・高校・大学・行政 等
静岡のまちをより良くする活動を協働で実践したい企業・団体

参加費 無料

同日開催 しぞーかわかものアクションアワード

プログラム

	若者団体×企業マッチング交流会	しぞーかわかものアクションアワード
14:00		オープニング 審査員・選考方法・団体紹介
14:15		最終プレゼンテーション 1団体15分×5団体の発表
15:30		休憩
15:45	オープニングオリエンテーション	
15:45	事例発表	
16:15	グループワーク 交流 マッチング	
17:30	まとめ	
17:45		審査結果発表 授賞式 クロージング
18:05		

主催：ふじのくにNPO活動支援センター

企画運営：しぞーかわかものアクションアワード実行委員会

NPO法人 ESUNE